

2021年7月9日  
株式会社東陽テクニカ

## 東陽テクニカがアンリツ、スパイレントと協業 アンリツの 5G 動画品質評価ソリューションを実現 ～ネットワーク障害を模擬した環境における 5G デバイスの動画品質評価に対応～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、アンリツ株式会社(本社：神奈川県厚木市、代表取締役社長：濱田 宏一、以下 アンリツ)、米国 Spirent Communications Inc.(本社：カリフォルニア州サンノゼ、以下 スパイレント)と協業し、ネットワーク障害を模擬した環境における 5G デバイスの動画品質評価に対応したアンリツの新たな 5G 動画品質評価ソリューションを実現いたしました。東陽テクニカが国内展開を担う、スパイレント製ネットワークエミュレータ「Attero」と映像品質評価システム「Spirent Umetrix Video」が、アンリツのラジオ コミュニケーション テストステーションと制御ソフトウェアで構築する 5G の疑似通信環境において、ネットワーク障害の模擬や、5G 端末における正常系・異常系両面での動画品質のラボ環境での評価を可能にしました。

### 【ソリューション概要】



(出典:アンリツ株式会社)

本ソリューションは、アンリツのラジオ コミュニケーション テストステーション「MT8000A」とその制御ソフトウェア「SmartStudio NR MX800070A」、そして東陽テクニカ取り扱いのスパイレント製ネットワークエミュレータ「Attero」と映像品質評価システム「Spirent Umetrix Video」から構成されます。

動画品質評価において、ネットワーク条件をフレキシブルに設定し、5G ライブネットワーク環境を簡単に再現できるため、効率的な動画品質の分析に役立てることができます。また、複数 API に対応しており、お客様の試験系に合わせた自動化環境を構築することが可能とされています。

▼参照：アンリツ株式会社ニュースリリース

<https://www.anritsu.com/ja-JP/test-measurement/news/news-releases/2021/2021-06-28-jp01>

## 【 東陽テクニカの取り扱い製品 】

### ネットワークエミュレータ「Attero」

ネットワーク全体や個々のネットワーク構成要素を正確かつ再現性をもってエミュレートし、次世代 IP 対応のプラットフォームやネットワークでの動画や VoIP のようなリアルタイム伝送に対する負荷試験を網羅するソリューションです。フィルタリングにより個々のパケット単位で、或いはトラフィック単位のいずれの障害の効果も試験可能です。

製品ページ URL : <https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/attero.html>

### 映像品質評価システム「Spirent Umetrix Video」

映像受信側のみでさまざまな実映像コンテンツの品質測定が可能な評価システムです。VMOS (Video Mean Opinion Score)<sup>※1</sup>に従って QoE (Quality of Experience)<sup>※2</sup>をスコアリングできます。ビデオストリーミングサービスをサポートし、ビデオコンテンツそのものを分析して、元のビデオを事前に表示せずにスコアリングし、より高速で安価な再現性のある設計検証、回帰テスト、および競合ベンチマークを実現できます。

製品ページ URL : [https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/umetrix\\_video.html](https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/umetrix_video.html)

※1 映像における、ユーザーエクスペリエンスの主観的な知覚品質を評価するために使用される数値方法。平均オペニオン評点。

※2 通信サービスにおいて、ユーザーが感じる品質のこと。ユーザーの体感品質。以前はパケット損失率やスループット等の測定可能な情報が評価指標となっていたが、同一の環境でもユーザーの状況によって品質の感じ方が異なることがわかり、近年では QoE が注目されている。

## <アンリツ株式会社について>

アンリツは神奈川県厚木市に本社を置く、通信分野において 120 年を超える実績を持ったグローバル企業です。5G、IoT を含む、最新技術に対応した通信システムやサービス・アプリケーションの開発・品質保証に欠かせない各種計測ソリューションのほか、食品・医薬品の品質保証システム、情報通信ソリューションなどを提供しています。幅広い分野で、安全・安心で快適な社会づくりを支えています。

アンリツ株式会社 Web サイト : <https://www.anritsu.com>

## <Spirent Communications Inc.について>

Spirent Communications Inc.は、米国カリフォルニア州サンノゼに本社を構える測定器メーカーです。IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。そのソリューションは研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器メーカー、企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、業界のリーディングカンパニーとして長年にわたり通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって、400G イーサネット、5G、LTE、無線 LAN、衛星通信、NFV、クラウド、IoT、M2M、ネットワークセキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。東陽テクニカは同社の日本国内における代理店です。

Spirent Communications Inc. Web サイト : <https://www.spirent.com/>

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC（電磁環境両立性）、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G（第 5 世代移動通信システム）の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL：03-3279-0771(代表)

Email：[marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。